

卓上データウェイ

TDW-205

取扱説明書



大和製衡株式会社

はじめに

この度は、卓上データウェイ“TDW-205”をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」(2ページ)、「使用上の注意とお願い」(4ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書はいつでも見ることができるところに必ず保管ください。

◇ 目次 ◇

1.	安全にお使いいただくために.....	2
2.	使用上の注意とお願い.....	4
3.	始業点検、保管・廃棄について.....	6
4.	各部の名称.....	7
5.	ご使用になる前に.....	8
6.	設置場所について.....	9
7.	使用地域設定.....	9
8.	表示部外観図.....	10
9.	キー操作について.....	11
10.	表示部について.....	13
11.	このような機能があります.....	17
12.	電源の入れ方.....	18
13.	電源の切り方.....	18
14.	質量組合せ機能.....	19
15.	はかり機能操作.....	21
16.	優先組合せ機能.....	24
17.	近似組合せおよび自動再組合せ機能.....	26
18.	載せ替え指示機能.....	27
19.	個数組合せ機能.....	28
20.	滞留品検出機能.....	30
21.	上下限判別機能.....	31
22.	外部はかり置数風袋機能.....	34
23.	目標値設定機能.....	35
24.	品名入力の仕方.....	37
25.	品種登録の仕方.....	38
26.	品種データの呼び出し方.....	39
27.	品種データのクリアの仕方.....	39
28.	休止はかり機能.....	40
29.	はかりチェック機能.....	41
30.	その他設定機能.....	44
31.	表示輝度及びコントラスト調整の仕方.....	48
32.	指示計ソフトバージョン確認の仕方.....	49
33.	日付・時刻設定の仕方.....	50
34.	ユーザパラメータ設定の仕方.....	51
35.	ユーザパラメータ表.....	53
36.	エラー表示について.....	54
37.	仕様.....	57
38.	索引.....	58

1. 安全にお使いいただくために

本製品をご使用になる前にこの「安全にお使いいただくために」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、必要な時にすぐ取り出せるように大切に保管してください。

本書で使用しているマークと意味について



危険

: この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



警告

: この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受ける恐れがある内容を示しています。



注意

: 遵守または矯正しないと製品自体に損害を与える恐れがある内容を示しています。



危険

: 感電事故を避けるために

- (1) 漏電による重傷事故を避けるために必ずアース線を接続してください。電源プラグはアース端子付きのプラグとなっています。
- (2) 電源コードは、足、運搬車等の車輪で踏まないようにしてください。
- (3) 指示計及び計量部のネジ止め部は、絶対に外さないでください。
- (4) 電源プラグの抜き差しは、プラグの樹脂部を持って確実に行ってください。
- (5) 本機の分解・改造はしないでください。
故障の原因となるばかりでなく、感電する恐れがあります。



危険

: 爆発、引火事故を避けるために

防爆機能を備えておりません。

可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。



危険

: 火災、感電事故を避けるために

万一煙が出ている、異様な臭いがする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認して購入先に修理を依頼してください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。



警告

: 不安定な場所で使用しないでください

傾いたりしていると転倒して思わぬ事故になる恐れがあります。

台の上に設置して使用する場合は十分な強度のある台の上で安全を確認して使用してください。



警告

: 載皿又は皿受を持って持ち上げないでください

はかりに無理な力が加わって故障の原因になります。

また、計量部(本体)、載皿及び指示計に負荷をかけたり、手などで強く押ししたりしないでください。



警告

: 本機の隙間に手、指を入れしないでください

けが、故障の原因になります。

また、はかりに無理な力が加わって故障の原因になります。



警告

: 本機の持ち運び移動の際は安全を確かめて確実に行ってください

無理な姿勢や、はかりの指示部を持っての持ち運びは絶対にしないでください。

2. 使用上の注意とお願い

● 故障の原因となります

- (1) 本器は簡易防水構造ですので、直接放水しないでください。
- (2) 次亜塩素、アルコール等の薬品での洗浄はしないでください。
- (3) 本機は精密な電子機器のため急激な温度変化を与えたり、湿度の高い場所に保管したりしないでください。
- (4) 電源コードに、重い物を載せたり、引っ張ったり、破損するようなことはしないでください。
- (5) 指示計画面（表示管、入力キー）を爪や先のとがったもので押さないでください。
- (6) はかりの持ち運びや移動の際は、落としたり、ぶつけないよう必ず、2名以上ではかりの底面を両手でしっかり持って持ち上げてください。
- (7) はかりの上に物を落としたり、衝撃や振動を与えないでください。
- (8) シンナー、ベンジン等では拭かないでください。
- (9) 一切の分解、改造はしないでください。はかりが動作しなくなります。
- (10) 砂、ほこり、粉塵の多い場所や塩水、潮風のかかる場所で使用しないでください。
- (11) 冷水や冷気をかけないでください、内部結露が起こりはかりが故障します。
- (12) 気温差の激しい場所に保管しないでください。
- (13) 内部結露が起こりやすい環境で使用される場合は、使用后、水抜き栓を空け乾燥した場所に保管ください。

● 計量不良の原因

- (1) 火気・蒸気の近く、直射日光や冷暖房機等の風が当たる場所で使用しないでください。
- (2) 過度の衝撃や振動および強い電磁波が発生する機器類(電子レンジ・携帯電話機等)の近くには設置しないでください。
- (3) 荷重に十分耐えられる水平で安定した場所で使用してください。
- (4) 指定の使用環境にて使用してください。
(使用環境：0℃～+40℃、30%RH～80%RH)
急激な温度変化を与えたり、高湿度環境で長時間使用しないでください。
- (5) 傾斜した台や、不安定な台(ぐらつく様な台)で使用しないでください。
- (6) 電源は瞬時停電や過度の電圧変動が起こらない安定した状態でお使いください。
- (7) 載皿の上に被計量物以外の重量物を置いての計量や
皿受台の下に異物を混入させた状態で計量しないでください。
- (8) 載皿の上に水滴や被計量物の残留物を残したまま計量しないでください。
正しい計量が出来ない場合があります。

● はかりの性能を維持させるために

- (1) 指示計は濡れた布などで汚れを拭き取って、その後乾いた布で確実に水分を拭き取ってください。また、直接水を掛けないでください。
- (2) 計量部を洗浄される際は濡れた布などで汚れを拭き取って、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。水をかけて洗いたい場合は、じょうろ程度の水流で水圧をかけた放水はやめてください。また、海水、汚れた水、不純物が入った水、室温より5℃以上温度差がある水では洗浄しないでください。
- (3) 指示計及び計量部の汚れを落とす場合は柔らかい布又はスポンジを使用してください。たわしやブラシは使用しないでください。
- (4) 計量部を中性洗剤で洗浄される場合は水で200倍程度に薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて拭き取ってください。拭き取った後、必ずきれいな水で洗い流し、その後乾いた布で水分を確実に拭き取ってください。また、クレンザーやアルカリ性洗剤は絶対に使用しないでください。
- (5) 指示計は汚れを拭き取るのみで洗剤や薬品を使って洗浄しないでください。
- (6) 次亜塩素酸による殺菌洗浄は載皿のみとし、指示計及び計量部は薬品で洗浄しないでください。
また載皿は次亜塩素酸の殺菌洗浄後、必ずきれいな水で洗い流し、その後、乾いた布で確実に拭き取ってください。
- (7) 分解や改造は絶対にしないでください。万一、誤って分解した場合は必ず販売店へ連絡してください。
- (8) はかりを落としたり、ぶついたりしないでください。
万一、誤って落としたり、ぶついたりした場合は必ず販売店へ連絡してください。
- (9) 長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (10) はかりは瞬時停電や過度の電圧変動が起こらない安定した電源状態でお使いください。
- (11) 皿受台下部のゴム（オレンジ色）を針などの尖ったもので突いたり、指や布などで押したり力をかけないでください。ゴムが破損し正しい計量が出来ない場合があります。

※これらの要因にて故障が発生した場合には保証期間内であっても有償修理になることがございますので、ご注意願います。

3. 始業点検、保管・廃棄について

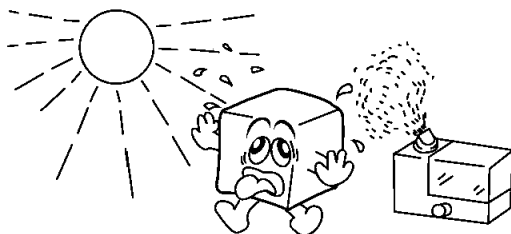
始業点検のお願い

計量法では、適正な計量の実施を求められており、始業時の点検、質量チェックを実施してください。

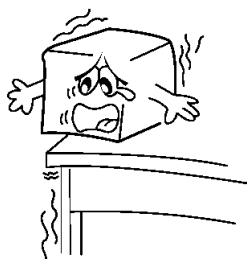
保管・廃棄 について

保管場所について

- ① 高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。



- ② 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管は避けてください。

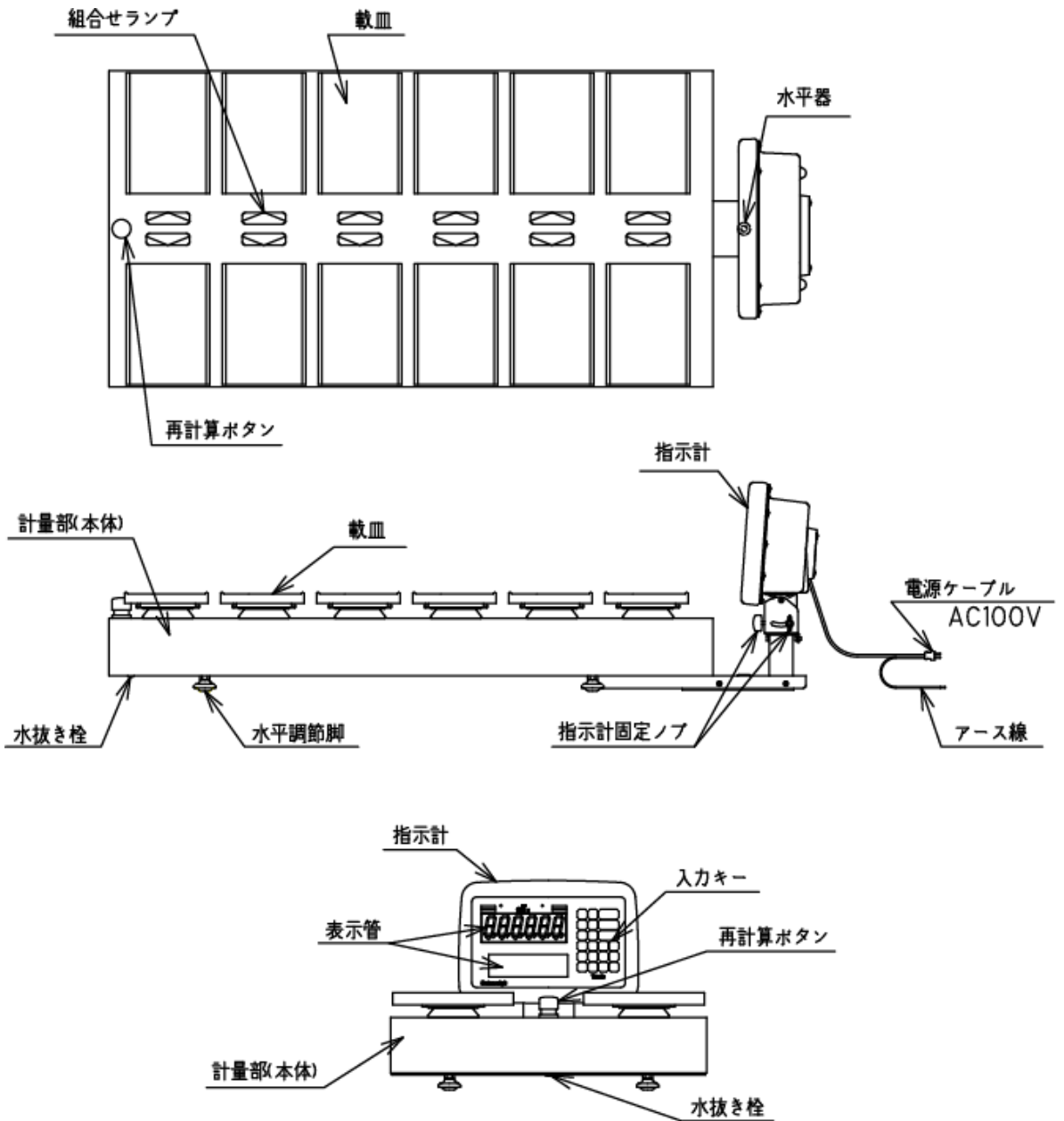


廃棄について

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。

廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

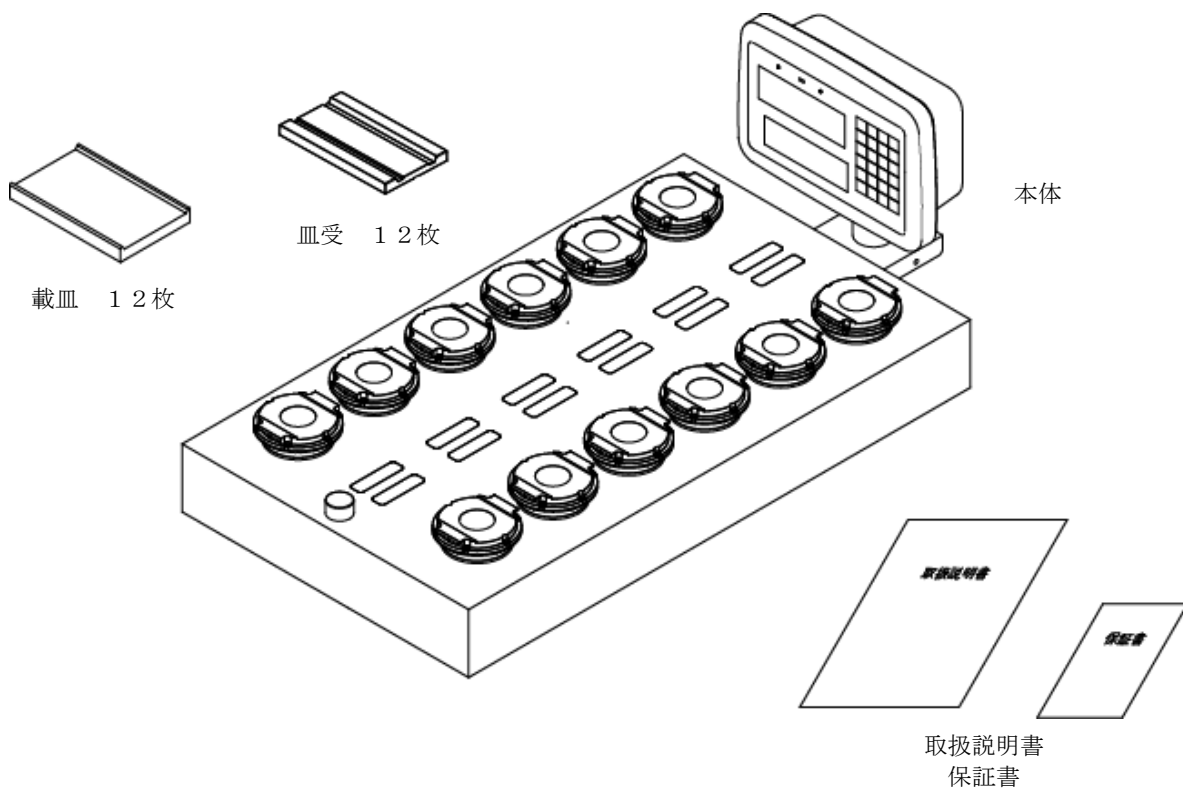
4. 各部の名称



5. ご使用になる前に

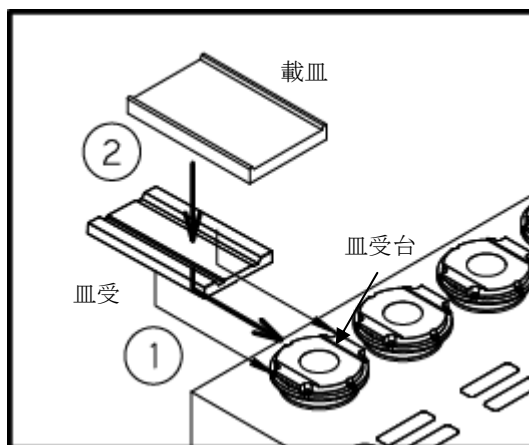
(1) 入っている物を確認してください。

製品の構成



(2) 計量皿の取付け方

- ①右図のように皿受を皿受台の勘合溝へスライドさせて取り付けます。
- ②皿受台に取り付けた皿受の上に載皿を置きます。



6. 設置場所について

はかりを使用するときは、必ず水平に設置してください。水平でないと正しい計量できません。また、がたつきがあっても正しい計量できません。

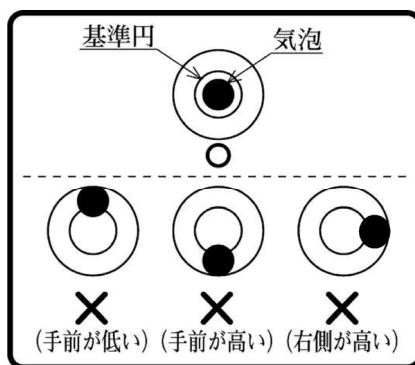
【注意】

傾いた床には置かないでください。(水平調整できる範囲を超える場合)

また、不安定な台の上には置かないでください。

はかり本体底面には水平を調整するための水平調整脚が4つあります。

なるべく平らな場所で、水平器の気泡が基準円の中心にくるように水平調整脚を回して調整してください。また、水平調整脚が浮かないように調整してください。



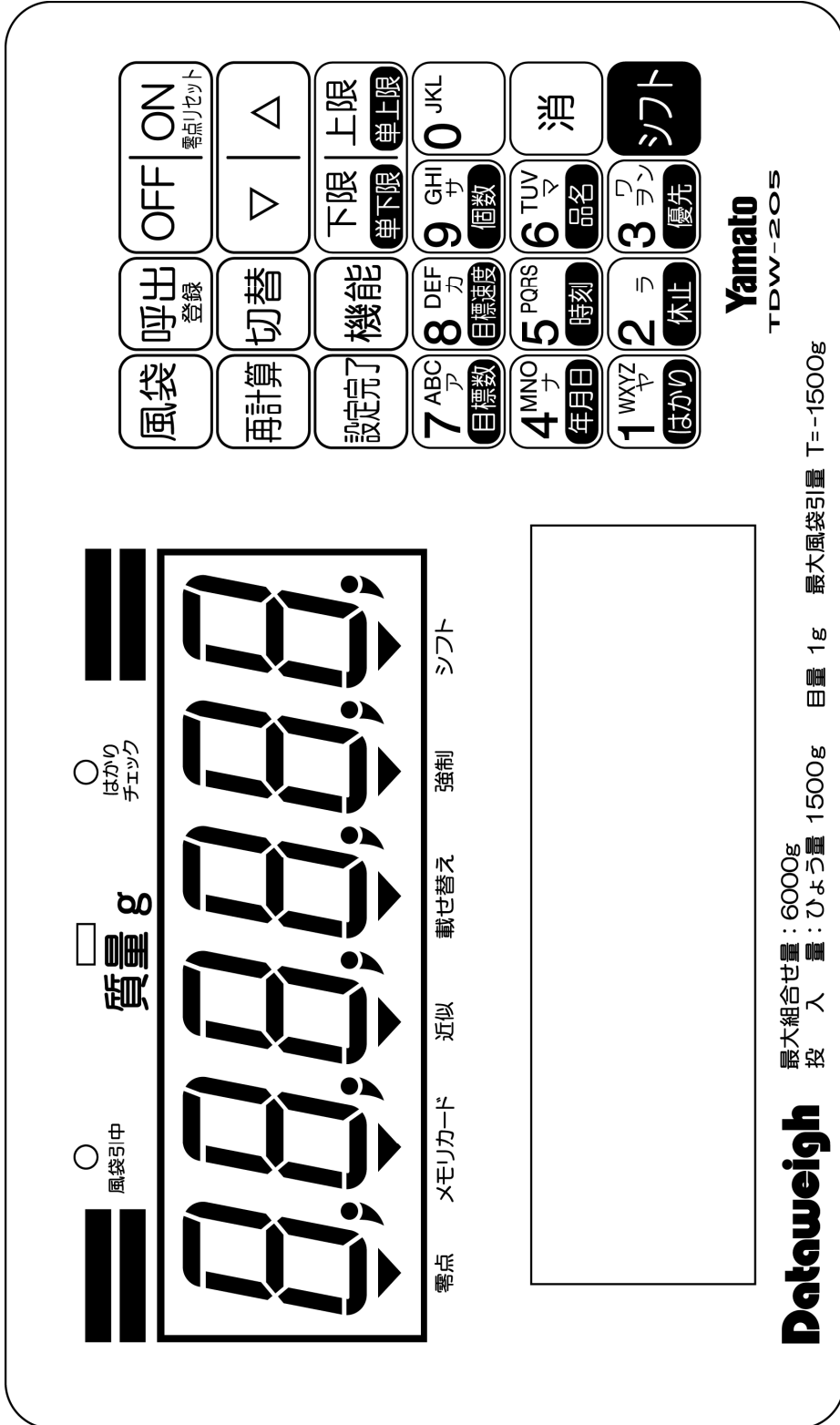
水平器の見方

7. 使用地域設定

ご購入後、はじめてご使用になる場合、使用地域別に重力加速度を補正する必要があります。補正を行わなかった場合、正しい計量ができない場合がありますので、ページ{ 44 }「その他設定機能」を参照いただき、重力加速度補正を行ってから計量を始めてください。

設定方法は、ページ{ 44 }「その他設定機能」を参照ください。














8. 表示部外観図



9. キー操作について

(1) 通常キー操作

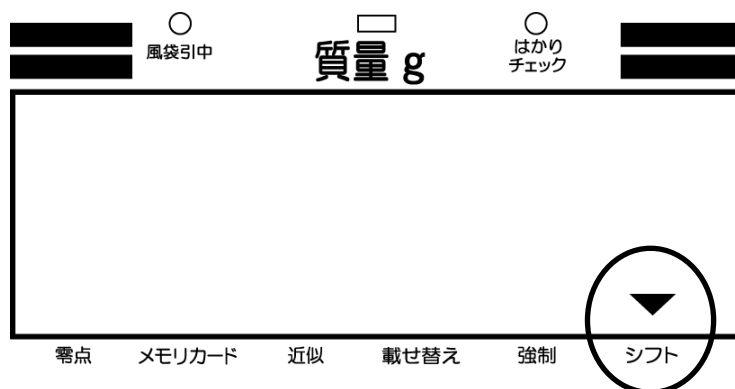
各キーを押したときの動作です。

キー	動作内容
	電源が入っていない時、電源をオンします。 電源が入っている時は、零点をリセットします。
	電源をオフします。
	登録データの呼び出しや、登録をします。
	ワンタッチ風袋引をします。
	カーソルの移動や選択番号を増加させます。
	カーソルの移動や選択番号を減少させます。
	表示画面の切り替えや、選択内容の切替をします。
	組合せの再計算をします。
	上限値を入力する表示へ切り替えます。
	下限値を入力する表示へ切り替えます。
	組合せ機能を設定する表示へ切り替えます。
	入力した設定値を確定します。
数字 キー	数字を入力します。
	入力中の設定値を0にします。

(2) シフトキー操作

シフトキーを押すと、シフトサインが点灯します。

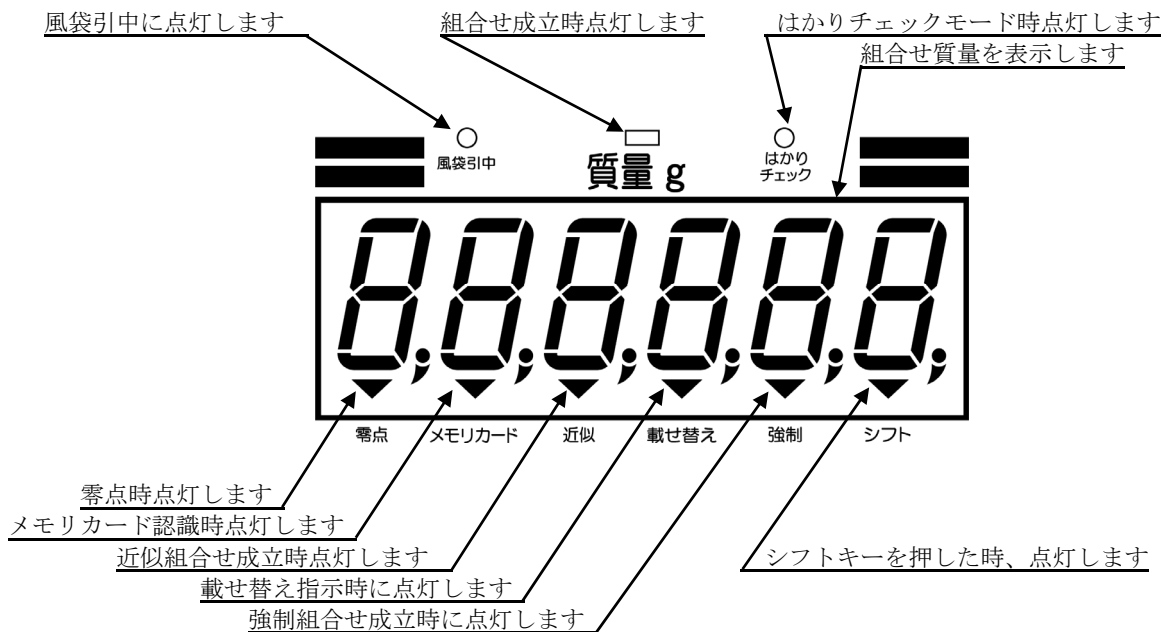
その状態でキーを押すと、下記の拡張キー機能が有効になります。



キー	動作内容
1 WXYZ はかり	計量ユニットの質量チェックを行う表示へ切り替えます。
2 ラ 休止	休止はかりを設定する表示へ切り替えます。
3 フ 優先	優先はかりを設定する表示へ切り替えます。
4 MNO 年月日	年月日を入力する表示へ切り替えます。
5 PQRS 時刻	時刻を入力する表示へ切り替えます。
6 TUV 品名	品名を入力する表示へ切り替えます。
7 ABC 目標数	目標生産数を入力する表示へ切り替えます。
8 DEF 目標速度	目標速度を入力する表示へ切り替えます。
9 GHI 個数	個数組合せの設定を入力する表示へ切り替えます。
上限 単上限	単重上限値を入力する表示へ切り替えます。
下限 単下限	単重下限値を入力する表示へ切り替えます。

10. 表示部について

(1) メイン表示：蛍光表示管



(2) サブ表示：フルドットLCD モジュール

サブ表示には、組合せ作業時に8項目のデータを表示することができます。
また、上限値や下限値など、設定値の入力はサブ表示で行います。
組合せ作業時には、下記3画面から表示を選択できます。

品番	1	品名	サンプル
下限値	110g	上限値	120g
個数	2~3個	近似・滞留	
単下限	30g	単上限	100g

図 1 0 - 1 . 第 1 画面表示例

品番	1	品名	サンプル
下限値	110g	上限値	120g
平均値	110.7g	速度	15コ/分
目標数	1000個	生産数	123個

図 1 0 - 2 . 第 2 画面表示例

品番	1	No. 1	53 g	No. 7	67 g
		No. 2	-OF-	No. 8	36 g
		No. 3	0 g	No. 9	74 g
		No. 4	0 g	No. 10	26 g
		No. 5	---LL	No. 11	0 g
		No. 6	39 g	No. 12	65 g

図 1 0 - 3 . 第 3 画面表示例

(3) サブ表示：画面切替方法

組合せ作業中に、**切替**を押す度に、第1画面→第2画面→第3画面→第1画面の順に切り替わります。

また、**▽** | **△**を押しても切り替えられます。

△を押す度に、第1画面→第2画面→第3画面→第1画面の順に切り替わります。

▽を押す度に、第1画面→第3画面→第2画面→第1画面の順に切り替わります。

(4) サブ表示：第1画面・第2画面の表示内容

表示画面は、図 10-4 のように8区画に分かれています。

上から1、2段目は、第1画面、第2画面ともに表示項目は固定となります。

残り3、4段目の①～④は、初期設定時においては、図 10-1 から 図 10-3 の内容を表示していますが、お客様が表示したい項目を割り付けることができます。

表示内容の設定は、ページ{53}「ユーザパラメータ表」の番号 036～043 で行います。なお、ユーザパラメータの設定方法はページ{51}「ユーザパラメータ設定の仕方」を参照してください。

品 番	1	品 名	サンプル
下限値	110g	上限値	120g
	①		②
	③		④

図 10-4. 表示画面割付図

【固定表示】

品 番・・・呼び出されている品種番号を表示します。登録されていない時は0を表示します。

品 名・・・呼び出されている品種名を表示します。

下限値・・・現在の組合せ質量の下限値を表示します

上限値・・・現在の組合せ質量の上限値を表示します。

【ユーザ設定可能な表示】(①～④の区画)

個 数・・・個数組合せの設定値を表示します。

機能設定表示・・・滞留品、近似組合せ、載せ替え指示、優先組合せの設定状態を表示します。

単下限・・・上下限判別機能の下限値を表示します。

単上限・・・上下限判別機能の上限値を表示します。

平均値・・・組合せ質量値の平均値を表示します。組合せが確定する度に自動更新します。

目標速度・・・組合せ作業をするにあたって目標にする組合せ作業のスピードです。個/分で表示します。

速 度・・・現在の組合せ作業のスピードを、個/分で表示します。この値は、組合せが確定する毎に自動更新します。

滞留時間・・・滞留品検出機能で、滞留品として検出する時間を分単位で表示します。

日 付・・・現在の日付を表示します。

時 刻・・・現在の時刻を表示します。

(5) サブ表示：第3画面の表示内容

図 10-3 のように、左側に品番が表示され、右側には各計量ユニットの質量値が表示されます。

計量ユニットが休止はかりになった場合またはエラーになった場合は、重量値のところが下記表示になります。

表示	意味
stop	計量ユニットが休止に設定されています。
---HH	計量ユニットがエラーになっています。 エラー内容は、ページ{54}「エラー表示について」を参照してください。
----H	
---LL	
----L	
-OF-	
-UF-	

(6) 計量部のLEDランプ

計量部にある計量ユニット毎のLEDランプは、組合せ成立中などの計量ユニットの状態を示します。ランプの色、または点灯か点滅かによって、下記のように示す状態が決まっています。

ランプの動作	計量ユニットの状態
緑色の点灯	組合せまたは滞留品の強制組合せが成立しています。 組合せ…ページ{ 19 }、滞留品の強制組合せ…ページ{ 30 }
緑色の点滅	近似組合せが成立しています。または、載せ替え指示中です。 近似組合せ、載せ替え表示中…ページ{ 26 }
赤色の点滅	間違った計量物を取り除きました。…ページ{ 20 }
紫色の点滅	計量物が滞留品になっています。 滞留品…ページ{ 30 }
ピンク色の点滅	上下限判別エラーになっています。 上下限判機能…ページ{ 31 }
橙色の点灯	計量ユニットが休止に設定されています。 休止はかりの設定…ページ{ 40 }
橙色の点滅	計量ユニットがエラーになっています。 エラー内容は、ページ{ 41 }「はかりチェック機能」または第3画面で確認できます。

11. このような機能があります

(1) 優先組合せ機能

異種混合パック商品（例えば、魚の切り身の尾部1枚を必ず入れ、そのほかと合わせて500gのパック商品にする）の場合には優先組合せ機能により優先はかりに指定した計量ユニットのうち1皿の計量皿を優先的に選択し、この皿と残りの皿（優先はかり以外）で組合せ演算を行う機能です。

機能の設定はページ{24}「優先組合せ機能」を参照ください。

(2) 近似組合せおよび自動再計算機能

全ての計量ユニットに計量物を載せたが、設定範囲内の組合せがない場合、近似組合せの機能が働きます。近似組合せが成立したときは緑色のランプが点滅します。

機能の設定はページ{26}「近似組合せおよび自動再組合せ機能」を参照ください。

(3) 載せ替え指示機能

全ての計量ユニットに計量物を載せたが、設定範囲内の組合せがない場合、載せ替えると組合せが成立する可能性が高くなる計量ユニットを緑色の点滅で知らせます。

機能の設定はページ{27}「載せ替え指示機能」を参照ください。

(4) 個数組合せ機能

目標質量・上限値の設定に加えて、組合せ台数の設定を行うと、3個で200gといった組合せをすることができます。(個数 = 計量ユニットの台数)

機能の設定はページ{28}「個数組合せ機能」を参照ください。

(5) 滞留品検出機能

長時間、組合せに参加しない計量ユニットを知らせる機能です。

計量物が載っているのに、一定時間組合せに参加しなかった計量ユニットを優先的に組合せに入れるよう試みます。さらに一定時間経過しても組合せに参加しないときは、その計量ユニットのランプが紫色点滅となり滞留品をお知らせします。

機能の設定はページ{30}「滞留品検出機能」を参照ください。

(6) 上下限判別機能

1台ずつの計量ユニットに載せる計量物の質量に上下限の制限をかける機能です。

設定範囲を超えた計量物が載せられると、ピンク色のランプが点滅します。

機能の設定はページ{31}「上下限判別機能」を参照ください。

(7) 外部はかり置数風袋機能

外部はかりを接続した場合、外部はかりからの質量に置数風袋引を行う機能です。

減算式の外部はかりを接続する場合に便利な機能です。

機能の設定はページ{34}「外部はかり置数風袋機能」を参照ください。

(8) 目標値設定機能

商品の目標生産数や、組合せスピードの目標値を設定し、現在の実績値と比較する機能です。

機能の設定はページ{35}「目標値設定機能」を参照ください。

(9) はかりチェック機能

12台ある計量ユニットを1台1台チェックすることができます。


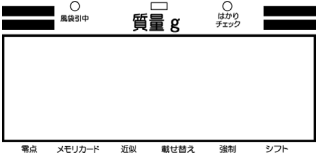
質量値を表示しますので、計量ユニットの質量チェックをすることができます。

機能の設定はページ{41}「はかりチェック機能」を参照ください。

12. 電源の入れ方

	操作手順	表示内容	備考																
①	計量ユニットの載皿に何も載っていないことを確認してください。																		
②	電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。																		
③	<p>【電源オン】</p>  を押してください。 指示計の初期化が開始します。	蛍光表示管の全ての表示が点滅します。 このとき、計量部の組合せランプが、「赤・緑・青」と順に点灯します。 	もし、点灯しない表示管・組合せランプがありましたら、ランプが故障している可能性がありますので、販売店までご連絡ください。																
④	点滅が終了すると、組合せの準備が完了します。 設定値を入力し、組合せ計量を開始してください。	 <table border="1" data-bbox="543 1006 927 1108"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>0g</td> <td>上限値</td> <td>0g</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>設定なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単下限</td> <td>0g</td> <td>単上限</td> <td>0g</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	0g	上限値	0g	個数	設定なし			単下限	0g	単上限	0g	
品番	0	品名																	
下限値	0g	上限値	0g																
個数	設定なし																		
単下限	0g	単上限	0g																

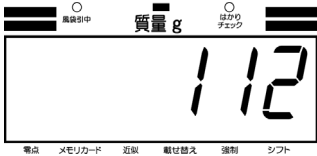
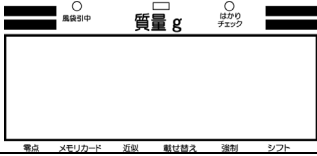
13. 電源の切り方

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【電源オフ】</p>  を押してください。		本機は表示オフしても、待機電力を消費します。 長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントより抜いてください。

14. 質量組合せ機能

《例》下限値 110g、上限値 120g を設定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【下限値設定】</p> <p>下限 単下限</p> <p>を押してください。</p>	<p>品番 0 品名</p> <p>下限値 0g 上限値 0g</p> <p>個数 設定なし</p> <p>下限値 0g</p>	設定値点減
②	<p>1 WXYZ はかり 1 WXYZ はかり 0 JKLT タ</p> <p>の順に、 入力してください。</p>	<p>品番 0 品名</p> <p>下限値 0g 上限値 0g</p> <p>個数 設定なし</p> <p>下限値 110g</p>	設定値点減
③	<p>設定完了</p> <p>を押してください。</p>	<p>品番 0 品名</p> <p>下限値 110g 上限値 0g</p> <p>個数 設定なし</p> <p>単下限 0g 単上限 0g</p>	
④	<p>【上限値設定】</p> <p>上限 単上限</p> <p>を押してください。</p>	<p>品番 0 品名</p> <p>下限値 110g 上限値 0g</p> <p>個数 設定なし</p> <p>上限値 0g</p>	設定値点減
⑤	<p>1 WXYZ はかり 2 ラ 休止 0 JKLT タ</p> <p>の順に、 入力してください。</p>	<p>品番 0 品名</p> <p>下限値 110g 上限値 0g</p> <p>個数 設定なし</p> <p>上限値 120g</p>	設定値点減
⑥	<p>設定完了</p> <p>を押してください。</p>	<p>品番 0 品名</p> <p>下限値 110g 上限値 120g</p> <p>個数 設定なし</p> <p>単下限 0g 単上限 0g</p>	

⑦	<p>【組合せ開始】</p> <p>計量物を計量ユニットの上に乗せてください。 3台以上の計量ユニットに計量物を載せると、組合せ計算を開始します。</p>		<p>最低 3 台以上の計量ユニットに計量物を載せないと組合せ計算は開始されません。</p>
⑧	<p>組合せができると、蛍光表示管に重量が表示されます。 また、計量部の組合せランプが緑色に点灯します。</p>		
⑨	<p>緑色に点灯した計量物を全て取り除いてください。</p>		
⑩	<p>⑦～⑨を繰り返します。</p>		

間違ったところの計量物を取ると、LED が赤色の点滅をしてブザーが鳴ります。
このときは、取り除いた計量物をもとの計量ユニットに戻してください。

もし、戻す計量ユニットがわからなくなったときは、指示計の**再計算**または、計量部の再計算ボタンを押して組合せをやり直してください。

また、このときの組合せした計量物は組合せ質量が正しいか質量の確認をしてください。

15. はかり機能操作

(1) 零点リセットの仕方

計量ユニットへの計量物の付着や洗浄により、計量ユニットの零点がずれた場合に行います。組合せモードでの零点リセットは、全ての計量ユニットに対し一斉に動作します。

特定の計量ユニットに対してのみ零点リセットを行いたい場合は、ページ{41}「はかりチェック機能」を参照してください。

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>ON 零点リセット</p> <p>を押してください。</p> <p>全ての計量ユニットの零点が取れると、零点サインが点灯します。</p>		

(2) 風袋引の仕方

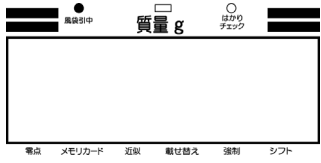
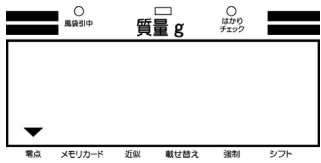
計量物を容器などに入れて計量したい場合に便利な機能です。

組合せモードでの風袋引は、全ての計量ユニットに対し一斉に動作します。

特定の計量ユニットに対してのみ風袋引を行いたい場合は、ページ{41}「はかりチェック機能」を参照してください。

	操作手順	表示内容	備考
①	計量ユニットに容器のみを載せてください。		
②	<p>計量ユニットが安定した状態で</p> <p>風袋</p> <p>を押してください。</p>		完了すると、風袋引中ランプと零点サインが点灯します。
③	<p>【組合せ開始】</p> <p>計量物を載せ、組合せ計量を開始してください。</p>		

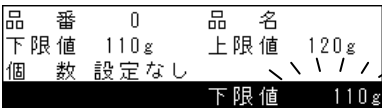
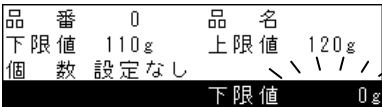

(3) 風袋引の取り消し方

	操作手順	表示内容	備考
①	容器を計量ユニットから取り除いてください。		
②	風袋 を押してください。		零点サインが点灯します。

(4) 設定値の取り消し方

現在の設定値をクリアする操作です。他の設定項目についても同様の動作となります。


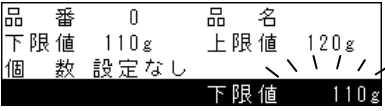


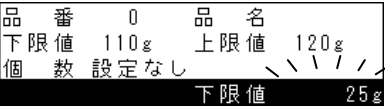

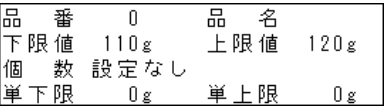
《例》下限値を取り消す(0にする場合)

	操作手順	表示内容	備考
①	下限 単下限 を押してください。		設定値点滅。
②	【下限値クリア】 消 を押してください。		設定値点滅。
③	設定完了 を押してください。		

(5) 設定値入力の中止

設定値入力を中止し、元の設定値に戻す操作です。他の設定項目についても同様の動作となります。

《例》下限値入力を中止する

	操作手順	表示内容	備考
①	 を押してください。		設定値点滅。
②	間違えて、   と入力してしまいました。		設定値点滅。
③	【下限値入力中止】  を押してください。		入力が中止され、下限値入力前の 110g に戻ります。

16. 優先組合せ機能

異種混合パック商品（例えば、魚の切り身の尾部1枚を必ず入れ、その他と合わせて

500gのパック商品にする）の場合には優先組合せ機能により優先はかりに指定した計量ユニットのうち1台の計量ユニットを優先的に選択し、この計量ユニットと残りの計量ユニット（優先はかり以外）で組合せ演算を行う機能です。

優先はかりに計量物を載せていないときには組合せはされません。

複数台の計量ユニットを優先はかりに設定した場合でも、1回の組合せでは1台の優先はかりと優先はかり以外の計量ユニットで組合せをします。

全ての計量ユニットを優先はかりに設定すると組合せができませんのでご注意ください。

〈例〉 No.6 と No.12 の計量ユニットを優先はかりに指定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>ソフトを押した後、 3 <small>ワ</small> <small>ラン</small> 優先を押してください。</p>		現在選択中の計量ユニットのエリアが点滅します。
②	<p>【計量ユニット選択】 △を5回押して、No.6の計量ユニットを選択してください。 なお、▽を押すと、逆方向へ数値が変化します。</p>		現在選択中の計量ユニットのエリアが点滅します。
③	<p>【優先はかり設定】 風袋を押すと、No.6が優先はかりとなり、レマークに変化します。 もう一度風袋を押すと、優先はかりが解除されます。</p>		現在選択中の計量ユニットのエリアが点滅します。
④	<p>引き続き、No.12の計量ユニットの設定を行います。 △を6回押して、No.12の計量ユニットを選択してください。</p>		現在選択中の計量ユニットのエリアが点滅します。
⑤	<p>風袋を押すと、No.12が優先はかりとなり、レマークに変化します。</p>		現在選択中の計量ユニットのエリアが点滅します。

⑥	<p>設定完了を押してください。</p> <p>優先組合せを開始してください。</p>	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>設定なし</td> <td>優</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単下限</td> <td>0g</td> <td>単上限</td> <td>0g</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数	設定なし	優		単下限	0g	単上限	0g	機能条件欄に設定が反映されます。
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数	設定なし	優																	
単下限	0g	単上限	0g																

また、はかりチェック画面で優先はかりを設定することもできます。
 設定方法は、ページ {41} 「はかりチェック機能」を参考にしてください。

17. 近似組合せおよび自動再組合せ機能

全ての計量ユニットに計量物を載せても、設定範囲内の組合せがない場合、近似組合せの機能を使うと上限値または下限値に最も近い組合せ値を表示します。

設定してある目標質量と上限値の範囲外であっても、近似組合せの機能を使っているとき緑色のランプが点滅して近似組合せができたことを知らせます。

ここで、いずれかの計量物を載せ替えると自動的に再計算をしますので、設定範囲内になる組合せがあれば、ランプは点滅から点灯に変わって組合せが確定します。

目標質量 : 100 g

上限値 : 102 g に設定していたが、設定範囲になる組合せが無く、最も近い組合せ値として105 gがある場合に105 gのものを近似組合せとします。

【機能選択肢】

OFF・・・組合せが無い場合は何も動作しない

近似 (+)・・・上限値以上で最も目標質量に近いものを選択

近似 (-)・・・下限値以下で最も目標質量に近いものを選択

近似 (+・-)・・・上記両方の内近い方を選択

載せ替え・・・載せ替えが必要な計量ユニットを指示 (ページ{27}を参照)

初期設定 : 「OFF」

《例》近似組合せ (上限以上で最も目標に近い) を設定する場合

	操作手順	表示内容	備考																
①	機能を押してください。 組合せ機能設定モードに入ります。	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数設定</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>滞留品設定</td> <td colspan="3">OFF</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数設定	なし			滞留品設定	OFF			
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数設定	なし																		
滞留品設定	OFF																		
②	【設定項目切替】 切替を1回押してください。 「近似・載替設定」が表示されます。	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数設定</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>近似・載替設定</td> <td colspan="3">OFF</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数設定	なし			近似・載替設定	OFF			
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数設定	なし																		
近似・載替設定	OFF																		
③	【設定内容選択】 △を1回押して、近似 (+) を選択してください。 なお、▽を押すと、逆方向へ設定内容が変化します。	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数設定</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>近似・載替設定</td> <td colspan="3">近似 (+)</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数設定	なし			近似・載替設定	近似 (+)			
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数設定	なし																		
近似・載替設定	近似 (+)																		
④	設定完了を押してください。 近似組合せが有効になります。	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数設定</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>単下限</td> <td>0g</td> <td>単上限</td> <td>0g</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数設定	なし			単下限	0g	単上限	0g	機能条件欄に設定が反映されます。
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数設定	なし																		
単下限	0g	単上限	0g																

【ポイント】

近似組合せは、全ての計量ユニットに計量物が載っていないと動作しません。

18. 載せ替え指示機能

載せ替え指示機能とは、全ての計量ユニットに計量物を載せても設定範囲内の組合せがない場合、載せ替えて次回に組合せが成立する確率が最も高くなる計量ユニットを知らせる機能です。

載せ替え指示機能を使用すると、緑色のランプが点滅した計量ユニットを載せ替えるように促します。

ここで、点滅した計量ユニットの計量物を全て載せ替えると、緑色の点滅が消え、設定範囲内になる組合せがあれば、緑色のランプが点灯し、組合せが確定します。

一度に何個の計量物を載せ替えるかは、ユーザパラメータで設定することができます。

【機能選択肢】

OFF・・・組合せが無い場合は何も動作しない

近似 (+)・・・上限値以上で最も目標質量に近いものを選択 (ページ{26}を参照)

近似 (-)・・・下限値以下で最も目標質量に近いものを選択 (ページ{26}を参照)

近似 (+・-)・・・上記両方の内近い方を選択 (ページ{26}を参照)

載せ替え・・・載せ替えが必要な計量ユニットを指示

初期設定：「OFF」

《例》載せ替え指示を設定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	機能 を押してください。 組合せ機能設定モードに入ります。	品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし 滞留品設定 OFF	
②	【設定項目切替】 切替 を1回押してください。 「近似・載替設定」が表示されます。	品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし 近似・載替設定 OFF	
③	【設定内容選択】 △ を4回押して、載せ替えを選択してください。 なお、 ▽ を押すと、逆方向へ設定内容が変化します。	品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし 近似・載替設定 載せ替え	
④	設定完了 を押してください。 近似組合せが有効になります。	品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし 載替 単下限 0g 単上限 0g	機能条件欄に設定が反映されます。

【ポイント】




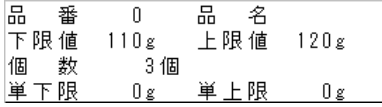
載せ替え指示機能は、全ての計量ユニットに計量物が載っていないと動作しません。

19. 個数組合せ機能

下限値・上限値の設定に加えて、組合せ個数（個数 = 計量ユニットの台数）の設定を行うと、3個で110gといった組合せをすることができます。

また、組合せ台数には範囲を設定することができますので 3個～5個 とすると、3個か4個または5個で組合せを見つけることができます。

〈例1〉3台の計量ユニットで、110g～120gとなる組合せを行う場合

	操作手順	表示内容	備考
①	【個数設定】  を押した後、  を押してください。		設定値点減
②	 を入力してください。		設定値点減
③	 を押してください。		

《例2》3台から5台の範囲で、110g～130gとなる組合せを行う場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【個数設定】</p> <p>シフトを押した後、 9 ^{GHI} _ワ 個数を押してください。</p>	 <p>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数 設定なし 個数 0個</p>	設定値点減
②	<p>3 ^ワ 優先を入力してください。</p>	 <p>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数 設定なし 個数 3個</p>	設定値点減
③	<p>【個数上限設定】</p> <p>切替を押してください。</p>	 <p>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数 設定なし 個数上限 0個</p>	設定値点減
④	<p>5 ^{PQRS} 時刻を入力してください。</p>	 <p>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数 設定なし 個数上限 5個</p>	設定値点減
⑤	<p>設定完了を押してください。</p>	 <p>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数 3～5個 単下限 0g 単上限 0g</p>	

20. 滞留品検出機能

被計量物が載っているのに、一定時間組合せに参加しなかった計量ユニットを優先的に組合せに入れるよう試みます。さらに一定時間経過しても組合せに参加しないときは、その計量ユニットのランプが紫色点滅となり滞留していることをお知らせします。

その計量ユニットから計量物を取り除くと消灯します。

一定時間は、ユーザパラメータで設定します。(分単位 1分から60分)

設定変更は、ページ{ 53 }「ユーザパラメータ表」の番号007で行います。なお、ユーザパラメータの設定方法はページ{ 51 }「ユーザパラメータ設定の仕方」を参照してください。

設定時間の半分を経過してから設定時間までの間(30分と設定した場合は15分経過後)、組合せに参加しなかった計量ユニットの計量物を滞留品と見なします。この計量ユニットは、優先的に組合せに参加させるよう組合せ計算を行います。この間は最適な組合せでない場合でも設定範囲であれば組合せを成立させます。

設定時間を経過しても、組合せに参加しなかったときはLEDランプを紫色に点滅させて滞留品となったことを知らせます。滞留品となった計量ユニットは組合せに参加しませんので、この計量ユニットの計量物を取り除いてください。取り除くと紫色のLEDは消灯します。

なお、あらかじめ滞留品の強制組合せを選択しているときは設定時間を超えると強制的に組合せに参加させます。このときは、組合せ質量値が設定範囲外であっても組合せをして緑色のランプが点灯します。

【機能選択肢】

OFF・・・滞留品を検出しない

滞留品検出・・・滞留品は取り除きとする(紫色の点滅)

強制組合せ・・・滞留品は強制組合せとする(緑色の点灯)

初期設定：「OFF」

《例》滞留品検出を設定する場合

	操作手順	表示内容	備考																
①	機能を押してください。 組合せ機能設定モードに入り、「滞留品設定」が表示されます。	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数設定</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>滞留品設定</td> <td colspan="3">OFF</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数設定	なし			滞留品設定	OFF			
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数設定	なし																		
滞留品設定	OFF																		
②	【設定内容選択】 △を1回押して、滞留品検出を選択してください。 なお、▽を押すと、逆方向へ設定内容が変化します。	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数設定</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>滞留品設定</td> <td colspan="3">滞留品検出</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数設定	なし			滞留品設定	滞留品検出			
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数設定	なし																		
滞留品設定	滞留品検出																		
③	設定完了を押してください。 滞留品検出機能が有効になります。	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数設定</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>単下限</td> <td>0g</td> <td>単上限</td> <td>0g</td> </tr> </table>	品番	0	品名		下限値	110g	上限値	120g	個数設定	なし			単下限	0g	単上限	0g	機能条件欄に設定が反映されます。
品番	0	品名																	
下限値	110g	上限値	120g																
個数設定	なし																		
単下限	0g	単上限	0g																

2 1. 上下限判別機能

1 台ずつの計量ユニットに載せる被計量物の質量に上下限の制限をかける機能です。

上限値または下限値だけの設定も可能です。

設定した範囲を超える被計量物が載せられた場合に、LED ランプをピンク色に点滅させて、上下限エラーになったことを知らせます。また、その際ブザーによる警告も合わせて行います。(ブザーの ON/OFF については、ユーザパラメータで変更できます)

被計量物を取り除くか、被計量物を載せ替えることで、上下限の範囲内の質量になるとエラーが停止します。エラーのある計量ユニットがある場合でもその他の計量ユニットで組合せ作業を継続します。

なお、外部はかりを使用した場合も、TDW の計量ユニットと同様の上下限設定が適用されます。

(1) 上下限判別機能の設定

上下限判別機能を設定すると、その品種を選んだときにその設定が適用されます。

- 単重上限値：1 台あたりの質量に上限値を設ける場合に設定します。
- 単重下限値：1 台あたりの質量に下限値を設ける場合に設定します。
- ただし、0g のときは、判別しません。

＜例＞単重下限値 40g、単重上限値 100g を設定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【単重下限値設定】</p> <p>シフトを押した後、 を押してください。</p>		設定値点減
②	<p> の順に、 入力してください。</p>		設定値点減
③	<p>を押してください。</p>		
④	<p>【上限値設定】</p> <p>シフトを押した後、 を押してください。</p>		設定値点減
⑤	<p>  の順に、 入力してください。</p>		設定値点減
⑥	<p>を押してください。</p>		

【ポイント】

設定値はいずれか一方のみ入力することも可能です。

(2) 優先はかり上下限判別機能の設定

単重の上下限判別機能と優先はかり機能を併用した場合に、優先はかりについては単重上下限エラー判別の有効・無効を選択することが可能です。

【機能選択肢】

OFF・・・優先はかりの単重上下限値のエラー判定は無効

ON・・・優先はかりの単重上下限値のエラー判定は有効

初期設定：「OFF」

≪例≫優先はかりの単重上下限値のエラー判定有効にする場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>機能を押してください。 組合せ機能設定モードに入ります。</p>	<pre>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし優 滞留品設定 OFF</pre>	
②	<p>【設定項目切替】</p> <p>切替を2回押してください。 「優先はかり上下限」が表示されます。</p>	<pre>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし優 優先はかり上下限 OFF</pre>	
③	<p>【設定内容選択】</p> <p>△を1回押して、ONを選択してください。 なお、▽を押すと、逆方向へ設定内容が変化します。</p>	<pre>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし優 優先はかり上下限 ON</pre>	
④	<p>設定完了を押してください。 優先はかり上下限判別機能が有効になります。</p>	<pre>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし優 単下限 40g 単上限 100g</pre>	

2.2. 外部はかり置数風袋機能

外部はかりを接続した場合、外部はかりからの質量に置数風袋引を行う機能です。特に、減算式の外部はかりを接続し、外部はかりから取り除く被計量物に毎回風袋が含まれている場合に、指示計側で正味質量が計算できますので大変便利です。

詳しくは、外部はかり接続オプションの取扱説明書をご参照ください。

〈例〉外部はかりの置数風袋を 20g に設定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>機能を押してください。</p> <p>組合せ機能設定モードに入ります。</p>		
②	<p>【設定項目切替】</p> <p>切替を3回押してください。</p> <p>「外部はかり置数風袋」が表示されます。</p>		設定値点滅
③	<p>【外部はかり置数風袋設定】</p> <p>2 <small>ラ</small> 0 <small>JKL</small> <small>タ</small>の順に、 <small>休止</small> 入力してください。</p>		設定値点滅
④	<p>設定完了を押してください。</p> <p>外部はかりに置数風袋が設定されました。</p>		

【ポイント】



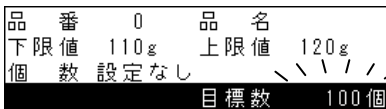

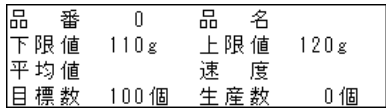
オプションの外部はかりを設定されていない場合、この設定を変更されても組合せ動作に影響しません。

23. 目標値設定機能

商品の目標生産数や、組合せスピードの目標値設定を行う機能です。商品の生産管理に活用できます。


(1) 目標生産数の設定

〈例〉目標生産数を 100 個に設定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	【個数設定】  を押した後、  を押してください。		設定値点減
②	   の順に、 入力してください。		設定値点減
③	 を押してください。 目標数が設定されました。		左は第 2 画面の表示です。

(2) 目標生産数到達時の動作

目標生産数に達した時、(例であれば、100 個目の組み合わせられた計量物を取り除いた時)、ブザーが鳴り下図のように、サブ表示にメッセージが表示されます。

 を押すと、ブザーが止まり、組合せモードに戻ります。

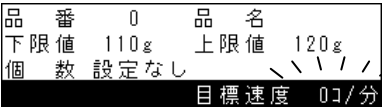
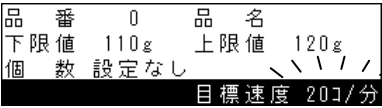
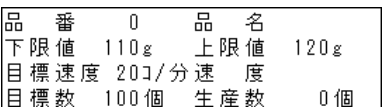
目標数に達しました

【注意】

目標生産数に達すると、組合せが停止し、計量できなくなります。
 品種を変更するか、現在の目標数より大きい値に設定し直してください。

(3) 目標速度の設定

《例》目標速度を 20 個／分に設定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【個数設定】</p> <p>ソフトを押した後、 8^{DEF}カを押してください。 <small>目標速度</small></p>		設定値点減
②	<p>2^ラ 0^{JKL}の順に、 <small>休止</small> <small>タ</small> 入力してください。</p>		設定値点減
③	<p>設定完了を押してください。 目標速度が設定されました。</p>		左は第 2 画面の表示です。 ただし、ユーザパラメータ 40 番を 6 にし、「目標速度」を表 示させています。

24. 品名入力の仕方

《例》 品名“サンプル”を入力する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>ソフトを押した後、 6 TUV マを押してください。</p>		品名の入力、サブ表示で行います。 設定桁点減。
②	<p>【入力文字切替】 切替を2回押してください。</p>	<p>↑ 入力文字モード</p>	<p>切替: 入力文字切替 数字モード(123) ↓ 英字モード(ABC) ↓ カナモード(アイウ) の順で切り替わる。 ()内は左端の表示を示す。</p>
③	<p>【文字入力】 文字割り当て表を参考に文字入力を行ってください。 《例》 “フ”を入力する場合 “フ”... 5 PORRS ハ を3回 時刻 “° (半濁点)”... 風袋 を2回 となります。</p>		<p>消を押すと、1文字削除します。</p> <p>▽ △を押すと、文字入力位置が移動します。</p>
④	<p>設定完了を押してください。</p>		組合せモードへ戻ります。

キーの文字割り当て一覧表

キー	数字モード	英字モード	カナモード
切替	英字モードへ	カナモードへ	数字モードへ
0	0	J K L j k l 0	タチツテトツ
1	1	W X Y Z w x y z 1	ヤユヨヤユヨ
2	2		2
3	3		3
4	4	M N O m n o 4	ナニヌネノ
5	5	P Q R S p q r s 5	ハヒフヘホ
6	6	T U V t u v 6	マミムメモ
7	7	A B C a b c 7	アイウエオアイウエオ
8	8	D E F d e f 8	カキクケコ
9	9	G H I g h i 9	サシスセソ
風袋	. - ? ! (スハ°-ス)	. - ? ! (スハ°-ス)	* ° . - (スハ°-ス)

25. 品種登録の仕方

TDW-205 は、上下限設定、優先はかり設定、個数組合せ設定、近似・載せ替え設定、滞留品設定、単重上下限設定、外部はかり置数風袋、目標数、目標速度、品名を呼出番号毎に記憶することができます。

呼出番号は1～100番まであり、100品種の記憶が可能です。

このデータは内部メモリに記憶していますので、はかりの電源を切っても消えることはありません。

日常頻繁に使用するデータを登録しておくことで、作業前の設定が簡単になり、作業効率が一段と向上します。

《例》設定した設定内容を呼出番号70に登録する場合

	操作手順	表示内容	備考																																
①	<p>予め登録したいデータを設定しておいてください。</p> <p>設定していない項目は登録されません。</p>	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td>サフ*ル</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>3～5個</td> <td>優・近似・滞留</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単下限</td> <td>40g</td> <td>単上限</td> <td>100g</td> </tr> </table>	品番	0	品名	サフ*ル	下限値	110g	上限値	120g	個数	3～5個	優・近似・滞留		単下限	40g	単上限	100g																	
品番	0	品名	サフ*ル																																
下限値	110g	上限値	120g																																
個数	3～5個	優・近似・滞留																																	
単下限	40g	単上限	100g																																
②	<p>呼出登録 を、「登録」と表示されるまで押し続けます。</p> <p>(設定中の表示は点滅)</p>	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td>サフ*ル</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>3～5個</td> <td>優・近似・滞留</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>呼出 000</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td>サフ*ル</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>3～5個</td> <td>優・近似・滞留</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>登録 000</td> </tr> </table>	品番	0	品名	サフ*ル	下限値	110g	上限値	120g	個数	3～5個	優・近似・滞留					呼出 000	品番	0	品名	サフ*ル	下限値	110g	上限値	120g	個数	3～5個	優・近似・滞留					登録 000	
品番	0	品名	サフ*ル																																
下限値	110g	上限値	120g																																
個数	3～5個	優・近似・滞留																																	
			呼出 000																																
品番	0	品名	サフ*ル																																
下限値	110g	上限値	120g																																
個数	3～5個	優・近似・滞留																																	
			登録 000																																
③	<p>【呼出番号入力】</p> <p>7 ABC ア 0 JKL タ の順に入力してください。</p>	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>0</td> <td>品名</td> <td>サフ*ル</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>3～5個</td> <td>優・近似・滞留</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>登録 070</td> </tr> </table>	品番	0	品名	サフ*ル	下限値	110g	上限値	120g	個数	3～5個	優・近似・滞留					登録 070	<p>登録を中止したいときは、消 を押し、呼出番号“000”と表示されたのを確認後、④に進んでください。</p> <p>この時、エラーブザーが鳴り、登録を中止します。</p>																
品番	0	品名	サフ*ル																																
下限値	110g	上限値	120g																																
個数	3～5個	優・近似・滞留																																	
			登録 070																																
④	<p>設定完了 を押ししてください。</p>	<table border="1"> <tr> <td>品番</td> <td>70</td> <td>品名</td> <td>サフ*ル</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>3～5個</td> <td>優・近似・滞留</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単下限</td> <td>40g</td> <td>単上限</td> <td>100g</td> </tr> </table>	品番	70	品名	サフ*ル	下限値	110g	上限値	120g	個数	3～5個	優・近似・滞留		単下限	40g	単上限	100g	<p>品番70に登録されました。</p>																
品番	70	品名	サフ*ル																																
下限値	110g	上限値	120g																																
個数	3～5個	優・近似・滞留																																	
単下限	40g	単上限	100g																																

26. 品種データの呼び出し方

《例》 前ページで登録した品種番号 70 番の品種データを呼び出す場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>呼出登録を押してください。</p>		<p>設定値点減。</p>
②	<p>【呼出番号入力】</p> <p>7^{ABC}_ア 0^{JKL}_カ の順に入力してください。</p> <p>また、▽ △ で、呼出番号を移動させながら選択することも可能です。 このときは、登録データが存在する番号のみ表示されます。</p>		<p>第1画面、第2画面から呼び出した場合は、上3行に品種設定の内容が表示されます。</p> <p>呼出を中止したいときは、再計算を押してください。</p>
③	<p>設定完了を押してください。</p>		<p>登録データが呼び出されました。</p>

27. 品種データのクリアの仕方

品番 0 を呼び出し、全ての設定値を”0”にした後、任意の品番へデータ登録を行うと、その番号のデータがクリアされます。

28. 休止はかり機能

計量ユニットが万一故障した場合、故障した計量ユニットを休止させて残りの計量ユニットで作業を続けることができます。計量ユニットが「休止」に設定されますと橙色のランプが点灯します。

《例》はかり No.3 を休止はかりにする場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【休止はかり設定】</p> <p>ソフトを押した後、 2 ラ 休止を押してください。</p>	<p>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし 休止設定変更 はかりNo. 1</p>	はかり No 点滅
②	<p>3 ラン 優先を押してください。 はかり No が 3 になります。</p>	<p>品番 0 品名 下限値 110g 上限値 120g 個数設定なし 休止設定変更 はかりNo. 3</p>	はかり No 点滅
③	<p>設定完了を押してください。 はかり No.3 が休止になります。</p>		第3画面のときは、No.3に「stop」と表示されます。

【ポイント】

休止はかりを解除する場合も、同様の操作となります。
そのはかりが休止の時に、上記操作を行うと、休止が解除されます。
また、はかりチェック画面で休止はかりを設定することもできます。
設定方法は、ページ {41} 「はかりチェック機能」を参考にしてください。

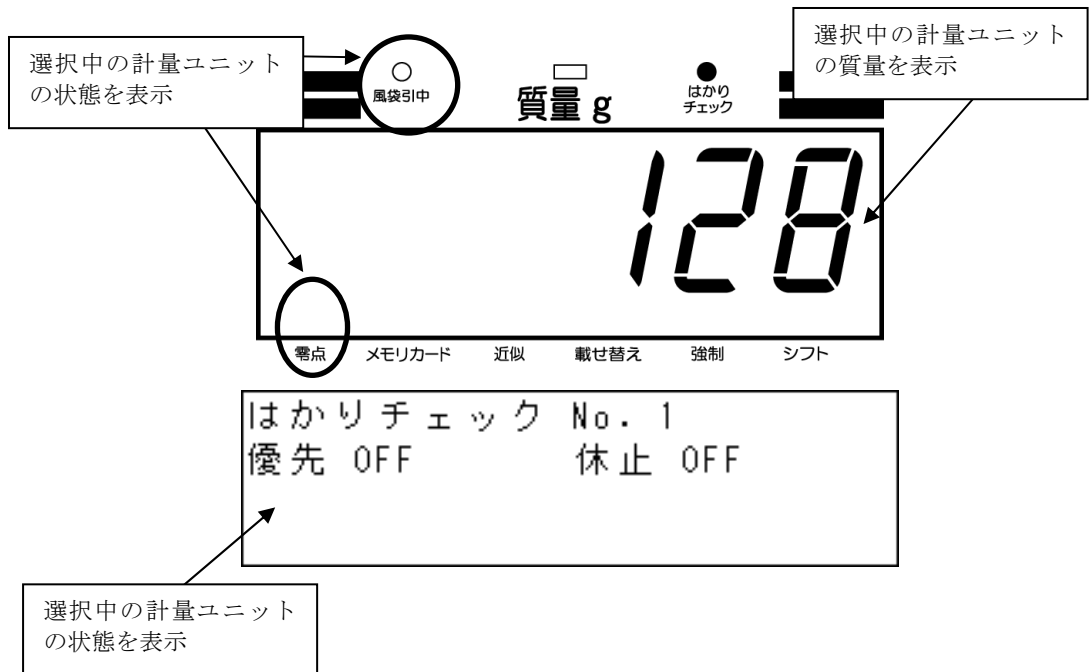
29. はかりチェック機能

各計量ユニットの質量をチェックしたり、計量ユニットの設定を変更する機能です。

(1) チェック機能

12台ある計量ユニットの質量値を個別に確認することができます。
はかりチェック中は、組合せ動作を停止します。

シフトを押した後、**1 WXYZ**
はかりを押してください。
下図のように表示が変わります。





風袋を押すと、この計量ユニット1台の風袋引きができます。





ON
零点リセットを押すと、この計量ユニット1台の零点リセットができます。

設定完了を押すと、この計量ユニットのチェック画面を閉じます。

(2) 別の計量ユニットの質量を確認する

はかりチェック機能呼び出し時は、はかり No.1 が選択されていますが、  を押すことで、表示する計量ユニットを切り替えることができます。

《例》はかり No.3 を表示する場合

	操 作 手 順	表 示 内 容	備 考
①	 を押した後、  を押してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> はかりチェック No. 1 優先 OFF 休止 OFF </div>	
②	【はかり No.選択】  を 2 回押して、No.3 を表示してください。 なお、  を押すと、逆方向へはかり No が移動します。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> はかりチェック No. 3 優先 OFF 休止 OFF </div>	

(3) 優先はかりの設定

選択中の計量ユニットの「優先はかり」設定を変更できます。

《例》はかり No.3 を優先はかりにする場合

	操作手順	表示内容	備考
①	はかりチェック画面で、はかり No.3 を選択してください。	はかりチェック No. 3 優先 OFF 休止 OFF	
②	【優先はかり設定】 ソフト を押した後、 3 <small>ラン</small> 優先 を押してください。 優先が ON となります。	はかりチェック No. 3 優先 ON 休止 OFF	優先が ON の状態で、この操作を行いますと、OFF になり、優先はかりが解除されます。
③	設定完了 を押してください。 はかり No.3 が優先になります。		

(4) 休止はかりの設定



選択中の計量ユニットの「休止はかり」設定を変更できます。

《例》はかり No.3 を休止はかりにする場合

	操作手順	表示内容	備考
①	はかりチェック画面で、はかり No.3 を選択してください。	はかりチェック No. 3 優先 OFF 休止 OFF	
②	【休止はかり設定】 ソフト を押した後、 2 <small>ラ</small> 休止 を押してください。 休止が ON となります。	はかりチェック No. 3 優先 OFF 休止 ON	休止が ON の状態で、この操作を行いますと、OFF になり、休止はかりが解除されます。
③	設定完了 を押してください。 はかり No.3 が休止になります。		

30. その他設定機能

はかりの使用地区や計量時の安定速度の設定を行う機能です。

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>呼出登録を押しながら 風袋を押してください。</p> <p>51ページの「ユーザパラメータ設定の仕方」を表示します。</p>		
②	<p>切替を1回押してください。</p> <p>※メモ리카ードオプションをご使用の場合は、2回押してください。</p> <p>その他設定が表示されます。</p>	 <p>その他設定 使用地区設定 [1]key 安定速度設定 [2]key</p>	

【ポイント】



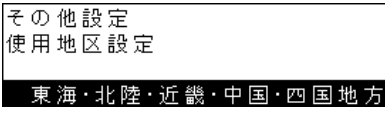








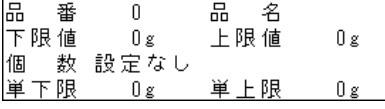
その他設定から組合せモードへ戻るときは、**設定完了**を2回押してください。

(1) 使用地域設定

はかりを使用する地域を設定します。

地域の詳細は、ページ { 46 } 「使用地域区分表」にありますので、使用地域を確認のうえ選択してください。

《例》使用地区を“関東甲信地方”に変更する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	その他設定を表示してください。		
②	【使用地区設定】  を押してください。		現在の使用地区設定が表示されます。
③	 を1回押して、“関東甲信地方”を表示してください。 なお、  を押すと、逆方向へ選択肢が移動します。		設定変更したくない場合は  を押してください。 変更せずに④へ進みます。
④	 を押してください。 計量ユニットに設定が書き込まれた後、その他設定画面に戻ります。		
⑤	 を押してください。 ユーザパラメータ設定モードに戻ります。		
⑥	もう一度、  を押すと、組合せモードに戻ります。		

【ポイント】

- ・次回使用するときからは使用地域別の重力加速度補正は必要ありませんので、電源を入れてそのままご使用ください。
- ・一度重力加速度補正を行ったはかりを設定値が異なる地域で使用する場合、再度使用地域に対応した重力加速度の補正が必要になります。

《使用地域区分表》

地域名	都道府県名	重力加速度の 範囲(m/s ²)
北海道地方	北海道	9.803～9.807
東北地方(福島県除く)	青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県	9.799～9.804
福島・新潟・北関東	福島県・新潟県・茨城県・栃木県・群馬県	9.796～9.801
関東甲信地方	東京都・神奈川県・群馬県・ 埼玉県・千葉県・山梨県・長野県	9.794～9.799
東海・北陸・近畿・ 中国・四国地方	福井県・富山県・石川県(北陸3県) 静岡県・岐阜県・愛知県・三重県(東海4県) 大阪府・和歌山県・奈良県・滋賀県・京都府・兵庫県 (近畿2府4県) 山口県・岡山県・鳥取県・広島県・島根県(中国5県) 香川県・愛媛県・徳島県・高知県(四国4県)	9.795～9.800
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、大分県、 鹿児島県(薩摩・大隅地方に限る)	9.794～9.797
南西諸島地方	鹿児島県(薩摩・大隅地方を除く)、沖縄県	9.789～9.794

(参考：国土地理院のホームページ(<http://www.gsi.go.jp>) に、地域別の重力加速度について説明がありますのでご参照ください。)

(2) 安定速度設定

はかりの安定の度合いを設定します。選択可能な設定は、以下の通りです。

【機能選択肢】









標準設定・・・組合せスピードと精度のバランスがとれた設定

耐振動設定・・・作業環境の振動などが大きく、標準設定では安定に時間がかかるときに設定
 慎重な安定検出を行うため、組合せ精度を上げたい場合にも有効

TDW-2100 互換設定・・・TDW-2100WP シリーズの計量部を使用する場合の設定

初期設定：「標準設定」

《例》安定速度を“耐振動設定”に変更する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	その他設定を表示してください。		
②	【安定速度設定】  ラ を押してください。 		現在の安定速度設定が表示されます。
③	 を1回押して、“耐振動設定”を表示してください。 なお、  を押すと、逆方向へ選択肢が移動します。		設定変更したくない場合は  を押してください。変更せずに④へ進みます。
④	 を押してください。 計量ユニットに設定が書き込まれた後、その他設定画面に戻ります。		
⑤	 を押してください。 ユーザパラメータ設定モードに戻ります。		
⑥	もう一度、  を押すと、組合せモードに戻ります。		

3 1. 表示輝度及びコントラスト調整の仕方

- ① **呼出** を押しながら **風袋** を押してください。

51ページの「ユーザパラメータ設定の仕方」を表示します。

- ② **切替** を2回押してください。(メモリカードオプションをご使用の場合は、3回押してください。)

下図のようにサブ表示が切り替わります。

FLD	LCD	
輝度:2	コントラスト:125	輝度:7
↑ [4]key	↑ [5]key	↑ [6]key
↓ [1]key	↓ [2]key	↓ [3]key

4 ^{MNO}
ナ
年月日 : メイン表示の輝度を上げたい場合

1 ^{WXYZ}
ヤ
はかり : メイン表示の輝度を下げたい場合

5 ^{PQRS}
ハ
時刻 : サブ表示のコントラストを強くしたい場合

2 ^ラ
休止 : サブ表示のコントラストを強くしたい場合

6 ^{TUV}
マ
品名 : サブ表示の輝度を上げたい場合

3 ^{ワン}
優先 : サブ表示の輝度を下げたい場合

- ③ **設定完了** を押してください。ユーザパラメータ設定モードに戻ります。

- ④ もう一度 **設定完了** を押すと、組合せモードに戻ります。

32. 指示計ソフトバージョン確認の仕方

指示計のソフトバージョンを確認する方法です。ご購入店などから指示計のバージョンを尋ねられた際に確認してください。

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>呼出登録を押しながら 風袋を押してください。</p> <p>51ページの「ユーザパラメータ設定の仕方」を表示します。</p>		
②	<p>切替を3回押してください。</p> <p>※メモ리카ードオプションをご使用の場合は、4回押してください。</p> <p>ソフトバージョンが表示されます。</p>		この場合、V1.00 を表しています。
③	<p>設定完了を押してください。</p> <p>ユーザパラメータ設定モードに戻ります。</p>		
④	<p>もう一度、設定完了を押すと、 組合せモードに戻ります。</p>		

33. 日付・時刻設定の仕方

指示計の日付・時刻を設定します。メモリカードオプションを用いて、組合せ結果の記録を保存する場合は必ず設定してください。

なお、内蔵時計を有していますので、1度設定されますと自動歩進します。

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【日付設定】</p> <p>シフトを押してから</p> <p>4 <small>MNO</small> 年 月 日 を押してください。</p> <p>例は、2010年 3月 1日を表示しています。</p>	 <p>(年の十の桁が点滅)</p>	<p>西暦で表示します。左から2桁ずつ、年、月、日の並びです。</p> <p>年号の設定は、西暦にて入力してください。</p>
②	<p>数字キーで年・月・日の順に入力してください。</p> <p>入力後、設定完了を押すと、組合せモードへ戻ります。</p>		<p>年、月、日は、2桁ずつ入力してください。</p> <p>《例》 2010年3月1日 “10” ”03” ”01”</p>
③	<p>【時刻設定】</p> <p>シフトを押してから</p> <p>5 <small>PORS</small> ハ 時刻 を押してください。</p> <p>例は、8時 20分を表示しています。</p>	 <p>(時間の十の桁が点滅)</p>	<p>24時間制で表示します。左から時、分の並びです。</p> <p>時間の設定は、24時間制で入力してください。</p>
④	<p>数字キーで時・分の順に入力してください。</p> <p>入力後、設定完了を押すと、組合せモードへ戻ります。</p>		<p>時、分は2桁ずつ入力してください。</p> <p>《例》 午前8時20分 “08” ”20”</p>

【注意】

- ・長期放置(約1年 電源コードを挿さない状態)されると自動充電式のバックアップ電池が空になり、日付・時刻データは消去されます。

34. ユーザパラメータ設定の仕方

TDW-205 には、ユーザパラメータがあり、使用環境に応じて最適な動作をするように設定変更できます。変更する際は、ページ{53}「ユーザパラメータ表」を参照してください。

パラメータ番号の選択には、上下キーで数字を移動させ希望の番号を表示する方法と、数字キーからダイレクトに表示する方法の二通りがあります。

ここでは、パラメータ番号 007 (滞留品検出時間) を 5 から 10 に変更する場合を例にとって、それぞれの操作を説明します。

《例》 上下キーで番号を選択する方法

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>呼出登録を押しながら風袋を押してください。</p>	<p>(設定値が点滅)</p>	<p>ユーザパラメータの設定モードを表示します。</p> <p>左3桁がパラメータ番号、右3桁が設定値です。</p>
②	<p>△を押して、変更したいパラメータ番号を表示させてください。</p> <p>▽を押すと、逆方向へ数値が変化します。</p>	<p>(設定値が点滅)</p>	<p>△を押し続けると押し続けている間、自動歩進します。</p> <p>(▽も同様)</p>
③	<p>数字キーにて設定値を変更します。</p> <p>1 WXYZ はかり 0 JKL タ と順に押ししてください。</p>	<p>(設定値が点滅)</p>	<p>入力を間違えた場合、消で入力値をクリアして再度入力してください。</p>
④	<p>その他のパラメータを続けて設定する場合は、上記②～③を繰り返してください。</p>	<p>(設定値が点滅)</p>	
⑤	<p>設定完了を押してください。</p> <p>組合せモードへ戻ります。</p>	<p>(設定値が点滅)</p>	<p>この時点で設定変更は反映されています。</p>

《例》 数字キーで番号を選択する方法

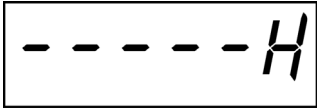
	操作手順	表示内容	備考
①	<p>呼出登録を押しながら 風袋を押してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	<p>ユーザパラメータの設定モードを表示します。</p> <p>左3桁がパラメータ番号、右3桁が設定値です。</p>
②	<p>風袋を押してください。</p> <p>パラメータ番号が点滅し、パラメータ番号入力モードになります。</p>	 <p>(パラメータ番号が点滅)</p>	
③	<p>数字キーにてパラメータ番号を変更します。</p> <p>7 ABC ア 目標数を押してください。</p>	 <p>(パラメータ番号が点滅)</p>	<p>入力を間違えた場合、消で入力値をクリアして再度入力してください。</p>
④	<p>風袋を押してください。</p> <p>パラメータ番号 007 の設定値入力モードになります。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	
⑤	<p>数字キーにて設定値を変更します。</p> <p>1 WXYZ ヤ 1 はかり 0 JKL タ と順に押してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	<p>入力を間違えた場合、消で入力値をクリアして再度入力してください。</p>
⑥	<p>その他のパラメータを続けて設定する場合は、上記②～⑤を繰り返してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	
⑦	<p>設定完了を押してください。</p> <p>組合せモードへ戻ります。</p>		<p>この時点で設定変更は反映されています。</p>

35. ユーザパラメータ表

番号	名称	標準値	機能説明																	
001	表示管の輝度	2	0:最も暗い ~ 4:最も明るい																	
002	自動輝度調整タイマー	10	00:輝度調整タイマー停止 01~60:使用しない時間が設定分続くと表示の輝度を最も暗い状態に自動的に変更する。																	
003	LCD コントラスト	125	0:最も低い ~ 255 : 最も高い																	
004	組合せ成立ブザー	1	0:組合せ成立時にブザーを鳴らさない。 1:組合せ成立時にブザーを鳴らす。																	
005	取り除きエラーブザー	1	0:取り除き間違いのエラーブザーを鳴らさない。 1:取り除き間違いのエラーブザーを鳴らす。																	
006	単重上下限判別エラーブザー	1	0:単重上下限判別のエラーブザーを鳴らさない。 1:単重上下限判別のエラーブザーを鳴らす。																	
007	滞留品検出時間	05	0:標準設定 [5分] 1~60:品物を載せてから滞留品として検出するまでの時間。 単位は分。																	
008	品種変更時零調	0	0:品種変更時に零調をしない。 1:品種変更時に零調をする。																	
009	載せ替えはかり数	01	0:初期設定 [1] 1~10:載せ替え指示機能使用時、組合せがなかった場合に一度に載せ替える品物の数。																	
010	積載位置指示 LED	1	※TDW-305 用のパラメータです。 標準値以外設定しないでください。																	
011	液晶表示保持	1	0:各種設定操作完了後、第1画面に戻します。 1:各種設定操作完了後も前回表示の画面の保持します。																	
034	自動電源オン	0	0:電源プラグ挿入時表示オンしない。 1:電源プラグ挿入時表示オンする。																	
035	電源オン時 No.1 自動呼び出し	1	0:何も呼び出さない。 1:品種番号1番を自動的に呼び出す。																	
036	LCD 割付 (第1画面①: 3段目左側)	01	00: 表示しない 01: 個数組合せ設定値 02: 滞留品、近似、載せ替え、優先機能の使用状態 03: 単重下限値 04: 単重上限値 05: 平均重量 06: 目標速度 07: 現在速度 08: 目標生産数 09: 生産実績数 10: 滞留検出時間 11: 年月日 12: 時刻																	
037	LCD 割付 (第1画面②: 3段目右側)	02																		
038	LCD 割付 (第1画面③: 4段目左側)	03																		
039	LCD 割付 (第1画面④: 4段目右側)	04																		
040	LCD 割付 (第2画面①: 3段目左側)	05																		
041	LCD 割付 (第2画面②: 3段目右側)	07																		
042	LCD 割付 (第2画面③: 4段目左側)	08																		
043	LCD 割付 (第2画面④: 4段目右側)	09																		
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 番</th> <th>1</th> <th>品 名</th> <th>サンプル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下限値</td> <td>110g</td> <td>上限値</td> <td>120g</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td>④</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品 番	1	品 名	サンプル	下限値	110g	上限値	120g	①		②		③		④	
品 番	1	品 名		サンプル																
下限値	110g	上限値	120g																	
①		②																		
③		④																		

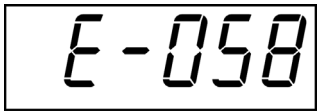

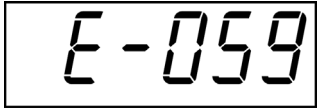

36. エラー表示について

(1) 計量ユニットのエラー

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
<p>【はかりチェック】</p>  <p>【第3画面】 ---HH</p>	<p>計量ユニットの載台に品物を載せたまま、電源オンした時、表示することがあります。</p>	<p>載台上の品物を取り除き、 ON 零点リセット を押してください。</p>
<p>【はかりチェック】</p>  <p>【第3画面】 ----H</p>	<p>計量ユニットの載台に品物を載せたまま、ON 零点リセット を押して、零点リセットした時、表示することがあります。</p>	<p>表示が“0g”になり、使用可能となります。</p>
<p>【はかりチェック】</p>  <p>【第3画面】 ---LL</p>	<p>計量ユニットの載台とケースとの間に異物をはさまった状態や載台を取り除いた状態で、電源オンした時、表示することがあります。</p>	<p>載台を正しく取り付けて、 ON 零点リセット を押してください。</p>
<p>【はかりチェック】</p>  <p>【第3画面】 ----L</p>	<p>計量ユニットの載台を取り除いた状態で、ON 零点リセット を押して、零点リセットした時、表示することがあります。</p>	<p>表示が“0g”になり、使用可能となります。</p>
<p>【はかりチェック】</p>  <p>【第3画面】 -OF-</p>	<p>使用中、はかりのひょう量を超える品物を載せた時、表示します。</p>	<p>品物を取り除きますと質量表示へ戻ります。 はかりの使用範囲内でご使用ください。</p>
<p>【はかりチェック】</p>  <p>【第3画面】 -UF-</p>	<p>使用中、はかりの載台を取り除いた時、表示します。</p>	<p>載台を正しく取り付けてください。 表示が“0g”になり使用可能となります。</p>

(2) 指示計のエラー

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	<p>計量部との通信に異常が発生した時、表示します。</p>	<p>電源を切った後、計量部との電源ケーブル、通信ケーブルの接続が正しくできているか確認してください。 その後、もう一度電源を入れ直してください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> メモリカードが挿入されていない時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、メモリカードが正しく挿入されているか確認してください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> 対応していないメモリカードが挿入された時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、対応しているメモリカードに交換してください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> 対応していないファイルシステムでフォーマットされたメモリカードが挿入された時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、パソコンにメモリカードを接続し、FAT 形式でフォーマットしてください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> ライトプロテクトされているメモリカードに書き込もうとした時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、メモリカードのプロテクトスイッチのロックを解除してください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> メモリカードに空きエリアがない時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、パソコンにメモリカードを接続し、不要なデータを削除してください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> メモリカードに異常が発生した時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、正常なメモリカードと交換してください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> 書き込もうとしたファイルが2GBに達した時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、パソコンにメモリカードを接続し、該当ファイルをメモリカードから移動させてください。</p>
	<p><メモリカードオプション使用時> 書き込もうとするファイルが見つからない時、表示します。</p>	<p>消を押してエラーを解除し、指示計でメモリカードのフォーマットをしてください。</p>

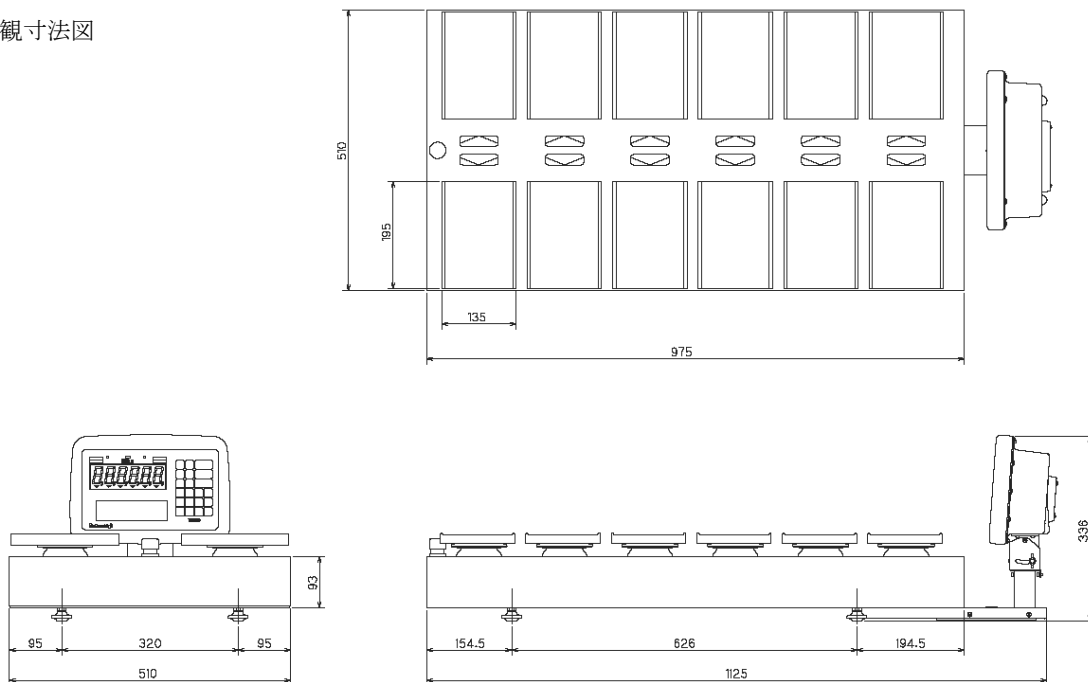
表 示 内 容	このような時表示されます	処置の仕方
	<メモリカードオプション使用時> 読み取り専用のファイルに書き込もうとした時、表示します。	 を押してエラーを解除し、パソコンにメモリカードを接続し、該当ファイルの属性を書き込み可能に変更してください。
	<メモリカードオプション使用時> アクセスしようとしたフォルダが見つからない時、表示します。	 を押してエラーを解除し、指示計でメモリカードのフォーマットをしてください。

お願い はかりを正しく使用されますとエラー表示することはありません。
上記エラー表示をした場合には、“処置の仕方”に従い処置をお願いいたします。
上記処置を行っても異常な現象が出る場合は、はかり内部の異常ですのでご購入店へ連絡願います。
また、“E-101”以上のエラー表示が出た場合も、ご購入店へ連絡願います。

37. 仕様

- 1. 型式 : TDW-205
- 2. 計量方式 : 電気抵抗線式ロードセル
- 3. ひょう量 : 1ヘッド 1500g
- 4. 目量 : 1g (組合せ分解能 0.1g)
- 5. 最大風袋引量 : 1500g(ひょう量まで)
- 6. 組合せ範囲 : 8g~6000g
- 7. 組合せスピード : 20回~30回/分 (手動式)
- 8. はかり連数 : 12連
- 9. 外観寸法 : 510 (W) × 1125 (L) × 336 (H) mm
- 10. 載皿寸法 : 195 (W) × 135 (L) mm
- 11. 自重 : 約40kg
- 12. メイン表示部 : 蛍光表示管 (7セグメント・6桁)
文字寸法 : 32 (H) × 14.6 (W) mm
- 13. サブ表示部 : フルドットLCDモジュール
ドットサイズ : 0.50 (H) × 0.50 (W) mm
- 14. 操作部 : 24キー
- 15. 登録件数 : 100件
- 16. 登録内容 : 品番、品名 (半角 12 文字)、下限値、上限値、個数組合せ設定、優先はかり設定、滞留品設定、近似組合せ設定、載せ替え指示機能設定、単重下限値、単重上限値、目標速度、生産目標数
- 17. 使用条件 : 温度範囲 : 0℃ ~ +40℃
湿度範囲 : 30%~85%RH(結露なきこと)
- 18. 電源 : AC100V (+10% -15%) 50/60Hz
約22W
- 19. 工場オプション : 1) メモリーカード (SD カード準拠品)
2) 外部はかり (UDS-5V-WP、DP-6600 ひょう量6kg 無検定仕様)
3) 内部結露防止ヒーター
4) 特殊皿

外観寸法図



38. 索引

あ

安定速度設定47

か

外部はかり置数風袋機能.....34
 下限値19
 画面切替.....14
 キー操作.....11
 休止はかり40
 強制組合せ30
 切替.....14
 近似組合せ26
 蛍光表示管13
 計量部 LED ランプ16
 計量ユニットのエラー54
 個数組合せ28

さ

再計算20
 サブ表示14
 時刻設定50
 指示計のエラー55
 シフトキー12
 重力加速度設定45
 上下限判別31
 上限値19
 使用地域区分表46
 使用地域設定45
 水平器9
 設定値の取り消し22
 速度15
 ソフトバージョン確認49

た

第1画面15
 第2画面15
 第3画面15
 滞留時間.....15
 滞留品検出.....30
 単下限31

単上限 31
 電源オフ 18
 電源オン 18

な

年月日 50
 載せ替え指示..... 27

は

はかりチェック 41
 日付設定 50
 表示輝度 48
 表示コントラスト 48
 品種登録..... 38
 品種のクリア 39
 品種の呼び出し 39
 品名入力 37
 風袋引 21
 風袋引の取り消し 22
 フルドット LCD モジュール 14
 平均値 15

ま

メイン表示 13
 目標数 35
 目標生産数 35
 目標速度 36

や

ユーザパラメータ表 53
 ユーザパラメータ設定 51
 優先組合せ 24
 優先はかり上下限判別機能 33
 呼出 39

ら

零点リセット 21

信頼・技術・創造



大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号		TEL. 078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	浜松町センタービル4階	TEL. 03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27-14	朝日生命名古屋栄ビル5階	TEL. 052-238-5731
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀4丁目8番18号	ショー・エム都賀1階	TEL. 043-214-3920
九州営業所	〒812-0018	福岡市博多区住吉4丁目3-2	博多エイトビル1階	TEL. 092-471-1921